

平成 25 年 1 月号

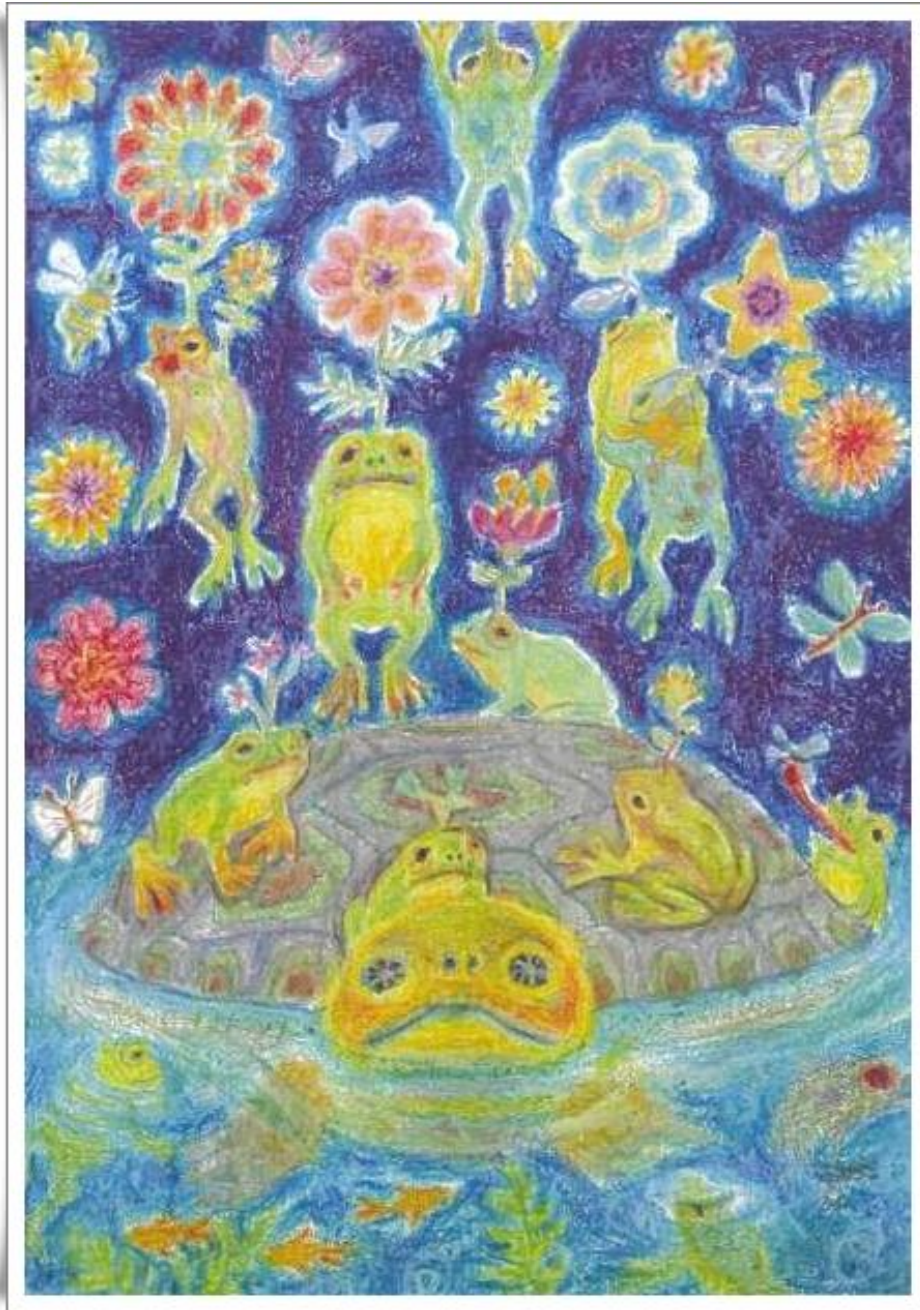
メンバー、ボランティア、学生
みんな仲間!

けやきと仲間 めーる



こころの病と闘っている人々と千葉大学生や周囲地域との協働の会 地域活動支援センター「けやきと仲間」

平成 25 年 1 月 1 日(第 93 号)



2013 年スプリングフェスティバルのポスターに応募した小野澤有羽さんの作品です。

きぼーる 作品展

12月3日（月）から7日（金）までの5日間「きぼーる」において、けやきと仲間の作品展が開催されました。「アトリエこすもす」との共同開催でしたが、絵画、書道など意欲的な作品を多数出品していただき、スペースが足りないほどでした。



開催に当たっては、9月の千葉市への申し込み手続きに始まり、「きぼーる」備品等の確認、新聞社への周知、ポスターの掲示等であつという間に開催日を迎えましたが、たくさんの方に観ていただき、また皆様のご協力の下、無事作品展を終了することが出来ました。

紙面をお借りして、感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

担当：納富

バスハイク 鎌倉編

鎌倉バス旅行の実行委員をやって

この度、初めてバス旅行の実行委員をやりました。

Sさんと二人で引き受けました。はじめのころはSさんがプレッシャーを感じていた様で、私はとまどいましたが、ここで私が踏ん張らなければとやっとできたのが、参加者名簿の作成、鎌倉駅や鶴岡八幡宮周辺の地図コピーも参加者に（テーブルの上に置く）。たいよう号関係の手配は平鹿さんがして下さいました。

プレッシャーに押されていたSさんも当日は頑張って点呼等していました。帰りは時間内に集合でき帰途につきました。

全員無事で解散しました。二次会に行ったメンバーもいた様です。（Sさんはプレッシャーから解放されメチャ賑やかだったそうです）

Sさんも私（K）もホッ!!



しらす丼を食べました

去る 12 月 12 日 (火曜日) に湘南方面の鎌倉にバス旅行に行きました。その当日は、晴天で風もなく空気が乾燥しており、海ほたるから綺麗な富士山が見え、絶好の散歩日和でした。

鎌倉に着いたのが、ちょうど昼時となり、すぐに鶴岡八幡宮に参拝し、男性ばかり 7 人で行動し、昼食をとるために小町通りから一本入った路地の、こじやれたレストランがあり入りました。そこのお店は、雑誌やテレビでも紹介されているお店で、名物が釜揚げしらすの丼ぶりなのです。そこのお店に男性ばかりで押しかけ、1 日限定 30 食の釜揚げしらす丼を注文しました。(写真参照)



それは、とても美味しく海の匂いがし、BGM もサザンが流れていて、湘南の香りを運んできたようでした。スープやサラダが付いて 980 円とまあまあのお値段でした。(量が少ないとつぶやいた人もいましたが) 僕にはちょうどいい量で、また来たいと思わせるお店でした。

K.K

建長寺にて

僕は建長寺に行きました。

ガイドブックで一目ぼれしたロック的仏像が、カッコ良すぎでした。ニコニコ・マイラブ…。

そうそう、行きのバスの中、突然乱入のバスガイドさん GOOD JOB でしたね。ニコニコ……。

おわり

心に茨を持つ少年

* * * * *

松本旅行

今度は松本へ行きました。ヘルパー講習で一緒だった友人 (男性) と長野県の松本城を見に行きました。すごく優しい方で作家の卵です。いつもはもう一人いらっしゃるのですが、でも結構楽しめました。一泊二日でした。

最初は秋葉原で会い、新宿へ行き、上諏訪まであずさ号で行きました。空気がまるで違ってました。水も新鮮でした。ところが薬を忘れず持って行ったのに今度はスマホが充電不足で友人のスマホの会社も違いがあるのでトホホ。またカメラも忘れてしまいました。

千葉のほうがかわいい方が多いのですが、なんか純粋なひとが千葉より多くて助かりました。でもなんか上諏訪には au-shop がなく困りました。結局充電機を買ったのですが、電話してもなかなか通じないので c メールに変えました。

松本城は素晴らしかったです。けやきへのお土産を買いました。お土産はお菓子でした。

カラオケをしました。三千円かかりました。カードの更新があったからです。何年分ですか? って突っ込まれそうですが、答えは 3 年分です。松本のカラオケ店は機械が最新式でした。クロッソでした。

ちょっと疲れ気味だったナッシーでした。

まな板心中

「ねえ、どうして私たち結婚できないの？」

「だって君はリンゴじゃないか。ニンジンの僕とは色こそ似ているけれど形も味もまるで違うよ」

「そんなの、あなたが少し尖（とが）っているだけじゃない。私たちの愛を止める理由にはならないわ」

「やめておくれ、僕だって本当は…」

「本当は？」

「…君と一緒にになりたい」

「うそ！ やだ…私うれしい…」

「でも、今、この世の中で、僕たちが一緒になることはできない」

「いいわ。だったら、私たち、来世で一緒になりましょう。生まれ変わったら、私、素敵（すてき）なニンジンになるからね」

こらこら、食べ物で遊ばないの。

そう注意すると、娘は「はい」と返事して、ミキサーで野菜ジュースを作り始めた。

岩井 洋一

（東京新聞「300文字小説」に投稿、2012年11月11日号に掲載されました）

川柳



富士山を見ながら向かう海ほたる

夢ごこち数年ぶりのバス旅行

クリスマス会費以上のケーキ食う

いいもんだ悩み忘れてはしゃぐ親

親も子も今年もきつと笑えそう